

第34回 全日本壮年ソフトボール大会北海道予選会 兼  
第19回 日本スポーツマスターズ男・女ソフトボール大会 北海道予選会  
開 催 要 項

- 1 主 催 北海道ソフトボール協会
- 2 主 管 胆振ソフトボール協会、豊浦町ソフトボール連盟
- 3 後 援 豊浦町、豊浦町教育委員会、豊浦町体育協会
- 4 会 期 令和元年6月29日(土)～6月30日(日)  
※全日本大会の代表が期日内に決定していない場合は、代表決定戦を行う。日時・場所は、北海道協会派遣理事と当該チームと協議し、北海道協会が決定する。
- 5 会 場 豊浦町民グラウンド ほか
- 6 参加チーム数 参加チーム数の制限は設けない。ただし、「7参加資格」及び「8出場資格」の条件を満たしたチームに限る。
- 7 参加資格
  - (イ) 令和元年度北海道ソフトボール協会に各地区を通して加盟登録したチームであること。  
**男子は壮年チーム、女子は35歳以上の者で構成されているチームであること。**
  - (ロ) 所属長が身体、人物共に適当と認めた者。
  - (ハ) 本北海道予選会において優勝又は準優勝した場合は、理由の如何を問わずどちらかの全国大に北海道代表として参加でき得るチームであること。**優勝チームに選択権を与える。**  
**※壮年全国大会日程 9月7日～9日 岩手県花巻市**  
**※マスターズ全国大会日程 9月21日～24日 岐阜県揖斐川市**
- 8 出場資格
  - (イ) 本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
  - (ロ) 選手の編成は、最終予選終了時までに北海道ソフトボール協会に登録した者から編成すること。なお、本大会参加申し込み以後のメンバー変更は認めない。
  - (ハ) チーム編成は、次の通りとする。  
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。  
※トレーナー1名及び外国人選手がいる場合には通訳1名のベンチ入りを認める。  
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。  
※監督・コーチの中で下記の①～③の資格を有する者がいること。ただし、監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。  
①コーチ1(指導員) ②コーチ2(上級指導員) ③コーチ3(コーチ)  
④コーチ4(上級コーチ) ⑤淳指導員  
※有資格者については、受付、監督会議等で資格者証の提示を求められたときは、速やかに提示できるよう、携帯すること。
- 9 申込み方法  
出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要な事項を明記の上、各関係の認印を受け、**6月8日(土)までに到着**するよう、参加料・保険料を添えて下記宛に申し込むこと。
  - (1) **参加申込書のコピーのみ 1通を郵送**  
〒062-0905 札幌師豊平区豊平5条1丁目1-1 北海道立総合体育センター内  
北海道ソフトボール協会事務局 宛
  - (2) **参加申込書(認印のあるもの)及びプログラム掲載用選手名簿の原本各1通及び参加料、保険料を現金書留にて郵送** ただし、参加料及び保険料は口座振り込みでも可です。

〒049-5412 虻田郡豊浦町字旭町60番地1

豊浦町ソフトボール連盟事務局 高橋 幸一 宛

Tel/Fax 0142-83-2430 携帯電話 090-9512-1163

口座番号 伊達信用金庫 虻田支店(普通) 0963615

豊浦町ソフトボール連盟会長 工藤 敏和

- 10 参加料 1チーム 25,000円
- 11 保険料 参加申込書に記載の人数に60円を乗じた金額(監督等も含め全員です。兼務者は1名に数える。)
- 12 競技規則 2019年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 13 試合球 (公財)日本ソフトボール協会検定ゴム製3号白球(ナガセケンコー株)とし、毎試合ごとに各チームは1球を持ち寄ること。
- 14 試合方法 トーナメント方式による。  
決勝戦を除き時間制を設けるので承知置くこと。詳細は、『競技上の注意』を参照して下さい。また、サスペンデッドゲームを採用します。
- 15 表彰 (1)優勝チームに、表彰状、優勝旗又は優勝杯を授与する。  
(2)準優勝チーム、3位チームに、表彰状を授与する。  
(3)優勝旗又は優勝杯は持ち回りとする。
- 16 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 17 組合せ抽選 試合の組合せは、**6月12日(水)**北海道ソフトボール協会事務局において、主催者立会いのもとに公開代理抽選によって決定する。
- 18 監督会議 6月29日(土)午前8時30分より グラウンドにおいて開催する。
- 19 審判・記録会議 6月29日(土)午前9時00分より グラウンドにおいて開催する。
- 20 開会式 6月29日(土)午前9時30分より グラウンドにおいて開催する。
- 21 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急処置を行うとともに北海道ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(保険料については参加者負担)の範囲内において補償を行う。参加者は全員、健康保険証を持参すること。  
**【補償内容 死亡・後遺障害 最高450万円、入院日額4,000円(事故の日から180日以内) 通院日額2,500円(事故の日から180日以内の通院90日を限度)】**  
**※保険料は別途徴収する。**
- 22 その他
- (1) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合はその者)によって引率され、監督等は当該チームの選手等の全ての行動に対して責任を負うこととする。
- (2) 北海道大会で棄権及び不正選手出場チームの取扱いについては以下のとおりとする。  
① 棄権及び不正選手出場チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合出場停止とする。  
② ①のチームが所属する地区協会に対する処置:次年度の同大会への出場資格の喪失  
※組み合わせ終了後の出場辞退(チームの変更も含む)についても大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。なお、事故などによる理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。又、この決定については、北海道協会派遣理事及び大会競技委員長で行う。
- (3) 雷鳴が聞こえたら、安全優先のためただちに試合を中断する。
- (4) 宿泊及び弁当等は、それぞれで確保して下さい。
- (5) 宿泊をするチームは、宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡して下さい。
- (6) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
- (7) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
- (8) 大会参加申込書は、明確に記入して下さい。
- (9) 開会式には監督、コーチ等、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは、原則として棄権とみなします。
- 23 連絡先  
本件に係る連絡等は、上記9(2)へお願いします。(日中は携帯電話へ)